

What
動物の病気ワンちゃんに
多い

えいん

会陰ヘルニア

ワンちゃんをお尻のほうから見て、肛門の下辺り一帯を会陰部(えいんぶ)と呼びます。

肛門のまわりは、何種類かの筋肉が取り巻いており、ちょうどその奥(頭側)が骨盤腔にあたり、元々「すきま」が大きくなっています。それが老齢化とともに、各筋肉が衰え、薄くなってしまいます。この「すきま」から直腸が出てしまったり、時には膀胱が出てしまうことを「会陰ヘルニア」と言います。高齢のワンちゃん、去勢をしていない男の子のワンちゃんに多い病気です。



症状

肛門の斜め下が、片側(右側に多い)あるいは両側にかけてぽっこりとふくらんできます。ふくらんでいる部分が

- ①直腸である場合 → ●うんちが出ない → 便秘
●うんちが細くて血が混じる
- ②膀胱である場合 → ●おしっこが出ない → 排尿障害
- ※①の方が多し。

原因

男性ホルモンの影響やお腹の内側から強い圧力がかかることが原因と言われています。高齢のオスのワンちゃんに多いです。まれに、メスのワンちゃんになる事もあります。

治療

とび出した臓器(腸や膀胱など)を外科手術によって元の状態に戻し「すきま」をふさぎます。去勢をしていないワンちゃんは、再発予防のために去勢手術を同時に行います。

予防

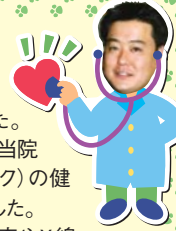
若くて健康なうちに去勢手術をすることをおすすめします。



おしりまわりはなかなか見ることが少なく、また毛でおおわれているので、わかりづらいですが、「あれ?ちょっとふくらんでいるかな?」と感じたら、来院して下さいね。

院長からのメッセージ

院長 石黒英昭



こんにちは。暖かくて過ごしやすい季節になりました。この冬は、はじめて人間ドックというものを行いました。当院ではワンちゃん(ドックドック)、ネコちゃん(キャットドック)の健康診断を行っていますが、自分で経験するのは初めてでした。日々病院で、ワンちゃんネコちゃんに行っている血液検査やX線やエコー検査を自分がされる側になると、この上なく不安な気持ちになる事を実感しました。今後、治療していく上でワンちゃんネコちゃんも病院は不安な場所だという事を考えつつ少しでも不安を和らげる病院作りをしないでと思っています。人間ドックの結果は…なんとか大丈夫でした。

さて、春になり予防の季節になりました。ワンちゃんネコちゃんの手で心配事がありましたら、遠慮なく聞いて下さいね。

■当院からのお知らせ

4月15日(水)・4月17日(金)は、狂犬病集合注射のため
午前中のみ院長不在の診察となります。

エキゾチック診察(ウサギ・フェレット・ハムスター・モルモット)は
予約診察となります。来院前に必ず電話でご確認下さい。

時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
AM9:00~12:00		●	●	●	●	●	●	△	●
PM4:00~7:00		●	●	●	●	●	●	△	△

※時間外・往診は電話にて確認して下さい。

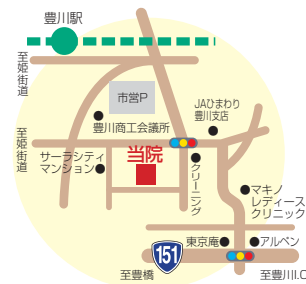
[時間外緊急診察のお知らせ]

診察時間外は、留守番電話になっております。診察券裏に表示されているカルテナンバー、お名前、ペットのお名前、ご連絡先、ペットの状態をメッセージにお残し下さい。緊急を要する事が多いとは思いますが、早口のメッセージで聞き取れない事が多いため、はっきりとお伝え下さい。診察可能な場合は、15分以内に当院より折り返し連絡いたします。なお、不在や診察不可能な時もありますので、ご了承下さい。



いしごろ動物病院
〒442-0033 豊川市豊川町辺通36-2

TEL&FAX
0533-80-3636

いしごろ
動物病院

Animal News

よいお写真が撮れたら
いつでもお持ち下さいね!

第14号

